

# CSAJ 活動 pickup

2016年1月～2016年6月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

# CSAJ 活動 pickup

---

2016年1月～2016年6月

2016年1月から2016年6月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

## 内容

政策提言・意見交換 .....	2
視察・海外出展 .....	4
イベント .....	6
ビジネスマッチング .....	10
情報提供セミナー・説明会 .....	12
ニュースリリース .....	20
報告書 .....	22
実施事業 .....	24
ご案内 .....	30

## 政策提言・意見交換

平成 28 年 1 月 19 日 (火)

### 産業構造審議会 知的財産分科会 意匠制度小委員会 報告書「画像デザインの保護の在り方について」(案)に対する意見提出

特許庁が平成 27 年 12 月 21 日 (月)～平成 28 年 1 月 19 日 (火) までの期間意見募集を行っていました「産業構造審議会 知的財産分科会 意匠制度小委員会報告書「画像デザインの保護の在り方について」(案)に対する意見募集」に対して、会員への意見募集等を踏まえ、とりまとめた意見を、平成 28 年 1 月 19 日 (金)、産業構造審議会 知的財産分科会 意匠制度小委員会へ提出しました。

○意見要旨は以下の通り。

- ・画像デザイン保護は、CSAJ 会員のビジネスに直結する重要課題であり、今般、意匠審査基準を改定して画像デザインの保護拡充を図ることに賛成
- ・企図されている意匠審査基準の改定は、物品に予め格納されたソフトウェアによる画像のみならず、後から追加インストールした操作画像やアップデートした操作画像が保護されるようになるが、現行意匠法を改正せずその枠内で保護拡充を図ろうとしているため、画像デザインと物品の一体性を保持することが要件となり、この結果、画像デザインが十分に保護されない
- ・クラウドの発展や IoT (Internet of Things) などの新たな技術展開を迎えている中で、画像デザイン保護の法整備は急務
- ・クラウドやネットワークコンピューティングによりクライアント端末に表示される画像デザインも保護対象とすべき
- ・物品の操作のための画像デザインであって、当該物品の使用を目的として接続されたモニター画面に表示されるのであれば、表示が一時的であろうと保護されるべき

平成 28 年 2 月 23 日 (火)

### 軽減税率に係る中小企業庁との支援措置に関する意見交換会開催

平成 28 年 2 月 23 日 (火)、平成 29 年 4 月 1 日から導入される消費税の軽減税率制度について、中小企業庁で検討されている消費税軽減税率対応に利用できる支援制度に関して、CSAJ 会員との意見交換会が開催されました。中小企業庁では、中小企業への支援の一環として、システム改修等の支援を検討しており、軽減税率制度の導入に伴う補助対象範囲や、パッケージソフトウェアの役割などについて、意見交換が行われました。

平成 28 年 2 月 26 日 (金)

### 経済産業省へ軽減税率対策補助金に関する要望事項提出

平成 28 年 2 月 26 日 (金)、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課へ軽減税率対策補助金に係る要望事項をとりまとめて、提出しました。要望内容は、軽減税率制度に係る補助対象範囲の見直しです。(軽減税率対応のため改修等が必要な業務システムすべてへの対象範囲の拡大、補助対象条件の「現状電子受発注システム (EDI 等) を利用中であること」の削除、導入済みシステムの改修等の対象とあわせ新規導入についても対象への追加、現状利用しているパッケージソフトを軽減税率に対応したパッケージソフト (あるいは軽減税率に対応したバージョン) に切り替えるための費用も対象に追加、クラウド利用料の対象範囲としての追加、ソフトウェアの保守費用の対象範囲としての追加)

平成 28 年 3 月 4 日 (金)

### 軽減税率制度 (案) 導入対策 IT ベンダー連絡会への参加

平成 28 年 3 月 4 日 (金)、経済産業省別館にて、IT 産業界が連携して必要な対策を検討するための「第 1 回軽減税率制度 (案) 導入対策 IT ベンダー連絡会」が開催されました。連絡会では、軽減税率制度 (案) の概要について説明があり、レジ導入・システム改修等支援補助金の概要説明や、流通業における軽減税率システム対応検討スタディグループの動きの報告、消費税率に影響する情報システムの実態に関するヒアリングなどが行われました。今後、この連絡会を通じて、軽減税率対策に係る政府と関係 IT ベンダー間の連絡調整や、政府から IT ベンダーへの調査・ヒアリング依頼等の調整、軽減税率導入への情報システム対応の加速に向けた対策検討等を行う予定です。

## 政策提言・意見交換

平成 28 年 5 月 10 日 (火)

### 経済産業省へ税制改正要望ヒアリング結果の報告

平成 28 年 4 月 28 日 (木)、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課より、平成 29 年 3 月末をもって適用期間が終了する中小企業投資促進税制および生産性向上設備投資促進税制について、意見照会がありました。CSAJ では、政策委員会等へ意見を求め、提出いただいた意見を、平成 28 年 5 月 10 日 (火) に、同課へ提出しました。

平成 28 年 5 月 31 日 (火)

### 経済産業省商務情報政策局情報処理振興課と CSAJ との定期ミーティングを開催

CSAJ では、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課との定期ミーティングを開催しており、平成 28 年度第 1 回を以下の通り開催し、積極的な意見交換が行われました。

日時 平成 28 年 5 月 31 日

会場 CSAJ 会議室

参加 METI 側 渡邊課長、小池室長、守谷課長補佐、太田課長補佐を含めた 8 名

CSAJ 側 荻原会長、水谷筆頭副会長、山本副会長、和田名誉会長、平野監事、前川専務理事を含めた 13 名

主な議題

1. (一社) 日本 IT 団体連盟 (ITrenmei) について
2. ソフトウェア出荷前セキュリティ診断の国の採用に関して
3. 2020 年 IT 教育への官民の準備

平成 28 年 6 月 14 日 (火)

### 人材委員会と IPA IT 人材育成本部との意見交換会を実施

平成 28 年 6 月 14 日 (火)、IPA にて、人材育成に関する意見交換会を実施しました。(参加: IPA 11 名、CSAJ 10 名)

CSAJ から IPA と関係のある人材関係の活動 (iCD、ITPEC、U-22 プログラミング・コンテスト、未踏事業、アジア人材支援など) の説明を行い、IPA からは未踏事業と先進的 IoT プロジェクト支援事業、情報セキュリティ関連、iCD、情報処理技術者試験の状況、及び今後の普及活動、情報処理技術者試験のアジア展開について説明を行い、それぞれ意見交換を行いました。



平成 28 年 6 月 20 日 (月)

### 経済産業省へ「中小企業投資促進税制」に関する意見提出

平成 28 年 6 月 16 日 (木)、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課より意見照会のありました中小企業投資促進税制に関する確認について、税制改正要望とりまとめの際に回答いただいた企業等へ意見照会を行い、寄せられた意見を、平成 28 年 6 月 20 日 (月) に、同課へ提出しました。

## 政策提言・意見交換

平成 28 年 6 月 20 日（月）

### 基幹統計調査（毎月勤労統計調査）に係る厚生労働省との意見交換会実施

平成 28 年 6 月 20 日（月）、厚生労働省大臣官房統計情報部雇用・賃金福祉統計課より照会のありました基幹統計調査（毎月勤労統計調査）について、意見交換を行いました。

市販の給与管理ソフトには、調査票様式に近い帳票の出力機能を備えているものもあり、調査票様式に沿った帳票の出力機能があれば、調査票記入の事務負担が大幅に軽減されるため、検討を進めているとのことで、給与管理ソフトを販売している事業所を主な対象として、毎月勤労統計調査とその調査票様式に係る説明機会の提供について相談がありました。本件については、いったん厚生労働省内で整理した上で、あらためて相談されることになりました。

平成 28 年 6 月 29 日（水）

### ビジネスで利用している契約条項に係る内閣府 消費者委員会事務局との意見交換会実施

平成 28 年 6 月 3 日（金）、内閣府 消費者委員会事務局より「ビジネスで利用している契約条項の使用状況等や個別の契約条項類型」について、意見照会がありました。CSAJ では、法務知財委員長・副委員長と対応について検討を行い、平成 28 年 6 月 6 日（月）～平成 28 年 6 月 20 日（月）の期間、会員へ意見募集を実施、寄せられた意見をもとに、法務・知財委員長・副委員長並びに意見提出された会員と、内閣府 消費者委員会事務局との意見交換会を行いました。

## 視察・海外出展

### マレーシア視察ツアー

期間：平成 28 年 2 月 21 日～26 日



マレーシア視察は、1996年に実施した視察ツアーで聞いたマルチメディア・スーパーコリドー計画のその後の確認（未来都市「サイバージャヤ」が現実に！）とMDEC（マルチメディア開発公社）とのビジネスマッチングを主体に実現したツアーで、今回、マレーシアの新興IT企業や、進出した日系企業を訪問し、マレーシアのIT業界の著しい発展を目の当たりにできました。

○[マレーシア視察ツアー報告書](#)



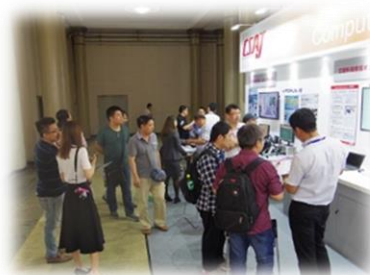
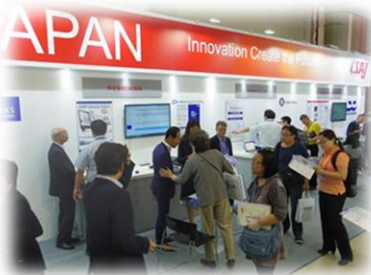
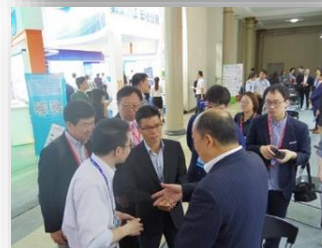
## 視察・海外出展

### 中国国際ソフトウェア博覧会出展（主催：日中ビジネス WG）

期間：平成 28 年 5 月 26 日（木）～28 日（土）

日中ビジネス WG では、平成 28 年 5 月 26 日（木）～28 日（土）の期間、中国・北京市で開催された「第 20 回中国国際軟件博覧会」に、ジャパンパビリオンとして、全 6 社の共同ブースを出展いたしました。

今年で第 20 回を数える中国国内でも有数のソフトウェア展示会において、ジャパンパビリオンとして出展した各社はそれぞれ成果を挙げているほか、主催者である中国ソフトウェア産業協会（CSIA）との関係構築にも貢献しました。



### **ICT 教育現場見学会**

期間：平成 28 年 6 月 22 日（水）

ICT 教育研究会は、東京都江戸川区にある「江戸川区立東葛西小学校」と「江戸川区立東葛西中学校」で行われている ICT 教育の現場を視察しました。

校長先生にヒアリングを行った後、実際に PC を使った授業の様子を見学し、その後再び校長先生との意見交換を行いました。

#### ○ICT 教育現場見学会終了報告

CSAJ 活動 pickup | 2016/08/01

5

# イベント

平成 28 年 1 月 20 日 (水)

## CSAJ 設立 30 周年記念

### 特別講演・平成 28 年新年賀詞交歓会

平成 28 年 1 月 20 日(水)、帝国ホテルにて、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の設立 30 周年記念特別講演・平成 28 年新年賀詞交歓会を開催しました。

特別講演では、「夢への挑戦」と題して、元柔道日本代表山下 泰裕氏より、ご講演を賜りました。講演では、ご自身が柔道をはじめた経緯から、恩師の存在によって、勝ち負けだけでなく、人としての生き方・あり方を学んだこと、教育の重要性などをお話いただき、現在はそれを後世や世界に伝えるため、全日本柔道連盟の副会長として、MIND プロジェクト、発展途上国に対する支援等に尽力していることなど、お話いただきました。

その後行われた賀詞交歓会では、開催に先立ち、CSAJ 会長荻原紀男より皆様への新年のご挨拶とご来賓のご紹介ののち、IoT 時代に突入し、ソフトウェアの重要性が高まる中、世界の競争力は激化しており、今後日本が世界で勝ち残るためには、人材育成が重要であること、そして本日お集まりいただいたすべての企業、団体が一つになり、IT 団体連盟のもと協力しあい、今年は「二度と日本を敗戦国にしない」というテーマを掲げたい、との言葉で開会しました。

次に、日頃業界活動や当協会の活動に多大なるご支援をいただいております経済産業省北村経夫大臣政務官に、また国会議員の先生を代表して、自民党 IT 戦略特命委員長 衆議院議員 平井卓也様にそれぞれご挨拶を頂戴しました。

続いて、昨年に藍綬褒章を受章した CSAJ 名誉顧問襟川恵子より、受章の報告と喜びが述べられた後、富士通株式会社代表取締役会長 山本正己様より乾杯のご発声を頂戴しまして、宴が始まりました。

開会後は、CSAJ の前身である日本パソコンソフトウェア協会設立時の会長であった、ソフトバンクグループ代表 孫正義様より頂戴しましたビデオメッセージの放映、会場内に設けました行政会員の方々による記念品等の展示ブース、CSAJ30 周年記念誌「Innovation ~ Create the Future ~」の配布など、設立 30 周年ならではの企画をはじめ、ご参加いただきました皆様同士による、新年のご挨拶や名刺交換、意見交換など大変活発な交流が行われました。

また、会の中盤には、ご多忙にもかかわらず駆けつけていただいた、文部科学大臣 馳浩様にもご挨拶を頂戴するとともに、ご参加いただいた皆様と、活発な交流が行われました。

会の終盤では、本日を迎えるにあたって、企画・協力いただいた CSAJ 設立 30 周年記念事業実行委員会の委員紹介が行われ、委員長である竹原司による中締めで、設立 30 周年記念・平成 28 年新年賀詞交歓会は閉幕しました。

当日は、ご来賓の方々、国内外の業界関係の方々、そして CSAJ 会員企業の皆様など 500 名を超える方々にご参加いただき大変盛況な会となりました。



設立30周年記念・平成28年 新年賀詞交歓会  
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会



# イベント

平成 28 年 3 月 11 日 (金)

## CSAJ 会員懇親会 in Osaka

平成 28 年 3 月 11 日 (金)、ホテル日航大阪にて「CSAJ 会員懇親会 in OSAKA」を開催いたしました。

当協会の活動においては、これまでも大阪にて交流会をはじめ各種セミナー等の開催実績はありますが、会員数の増加に伴い、あらためて大阪を中心とする近畿圏の会員企業の交流を図るべく、今回の開催に至りました。

当日は、42 社 60 名の会員、関係企業、関係団体にご来場いただき、経済産業省近畿経済産業局 地域経済部 次長 玉野直毅様にご挨拶を頂戴したほか、OSK 日本歌劇団によるショーなど、大変盛況のうちに終了いたしました。



平成 28 年 5 月 14 日 (土)

## 第 4 回 CSAJ 会長杯親睦会 終了報告

平成 28 年 5 月 14 日 (土)、CSAJ 第 4 回会長杯親睦会 (交流委員会主催) が「真名カントリークラブ」で開催されました。

当日は朝から晴天に恵まれ、新緑が美しく清々しい気候の中、総勢 38 名の皆さまが参加されました。

はじめに、荻原会長の挨拶があり、そのあと交流委員の村瀬理事より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。続いて参加者全員による記念撮影を行った後、こぶしコース、くすの木コースに分かれて、それぞれの組ごとの記念撮影を行い、プレーが開始されました。

皆さま日頃のゴルフの腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第 4 回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

なお、次回第 5 回会長杯親睦会は、11 月 19 日 (土) を予定しています。





# イベント

平成 28 年 4 月 25 日 (月)

## 第 2 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会 (主催：総務委員会)

平成 28 年 4 月 20 日 (水)、平成 27 年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 2 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会を「トスラブ山王」で開催されました。

当日は、15 社/28 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 40 名の参加となり大変盛況な懇親会になりました。会は、荻原会長の挨拶と乾杯から始まり、中盤では、参加企業様により自己紹介・自社アピールの時間を設け、各社が CSAJ に入会した経緯や入会して期待することなどそれぞれ発表していただきました。最後は、山本副会長の中締めで終了となりました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

株式会社アクロネット  
インテリジェントウィルパワー株式会社  
グーグル株式会社  
株式会社クリエイティブソリューションズ  
株式会社 JELLYFISH  
株式会社ジオ・ブレーン  
株式会社セカンド・サイド  
株式会社セキュア  
株式会社 DYM  
ナレッジスイート株式会社  
フォースパレー・コンシェルジュ株式会社  
株式会社フロム・エージャパン  
株式会社ユビキタス  
株式会社豆蔵  
ヤフー株式会社



乾杯をする荻原会長(中央)、  
和田名誉会長(左側)、山本副会長(右側)



懇親会場の様子



中締めの挨拶：山本副会長



自社アピールをする参加企業の方々

# イベント

平成 28 年 6 月 8 日 (水)

## 平成 28 年度

### 第 31 回定時総会・特別講演・懇親会終了報告

去る、平成 28 年 6 月 8 日、ホテルオークラにおいて第 31 回定時総会、会員集会、特別講演、定時総会懇親会が開催されました。

#### ■ 定時総会

第 31 回定時総会は、荻原紀男会長が議長となり、議案の審議に入りました。

#### <決議事項>

- 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告および決算報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 28 年度・29 年度 理事および監事の選任について
- 第 3 号議案 役員報酬の総額について

#### <報告事項>

- 平成 28 年度事業計画書および収支予算書について
- 平成 28 年度 CSAJ 役員功労賞等の受賞者発表

審議の結果、第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案は原案通り承認されました。なお、出席者数は 278 名でした。

総会終了後には、同室にて、第 3 回 CSAJ 役員功労賞の表彰式が行われ、その後別室で行われた臨時理事会によって、会長・筆頭副会長・副会長・専務理事が互選されました。あわせて、名誉会長、名誉顧問及び平成 28 年度新設のフェローが就任され、紹介されました。

#### CSAJ 役員リスト

#### ■ 特別講演

会員集会後に「IT が及ぼした社会構造変化の考察と日本企業の展望 ～時代の変化に対応できる企業へ～」と題し、夏野剛氏（慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特別招聘教授）による特別講演が開催されました。

#### ■ 懇親会

ホテルオークラ別館地下 2F「アスコットホール」に場所を移し、第 31 回定時総会懇親会が開催されました。

懇親会にはご来賓、業界関係の方々をはじめ、CSAJ 会員の皆様など約 400 名のご来場者を迎え、活発なご歓談が繰り広げられました。

また、会の途中では、第 3 回 CSAJ 役員功労賞を受賞された襟川恵子名誉顧問から、喜びと御礼のお言葉が述べられました。懇親会は、大変盛況のうちに中締めめの時間となり、青野慶久副会長による中締めめで、閉幕しました。



# ビジネスマッチング



## 第 115 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成 28 年 2 月 17 日 (水)、会場: 大久保健保会館会議室

参加実績: 30 社 42 名

プレゼンテーション 1: [株式会社 AXLBIT](#)

発表製品分類: SaaS アプリケーション、コンテンツサービスの契約自動化ワークフロー

発表製品名: AXLGEAR (アクセルギア)

プレゼンテーション 2: [株式会社 CloudPayment](#)

発表製品分類: カスタマーサクセス (売上向上、キャッシュフロー向上、生産性向上) に貢献する業務改善クラウド

発表製品名: 請求管理クラウド経理のミカタ

プレゼンテーション 3: [株式会社 Liquid マーケティング](#)

発表製品分類: 指紋認証による次世代ログインサービス

発表製品名: PASC

プレゼンテーション 4: [インテリジェントウィルパワー株式会社](#)

発表製品分類: SaaS サービス (情報管理)

発表製品名: TIWC VDR™



## 第 116 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成 28 年 4 月 12 日 (火)、会場: 山王健保会館会議室

参加実績: 29 社 48 名

プレゼンテーション 1: [モビルス株式会社](#)

発表製品分類: チャット型コミュニケーションツールの開発用 SDK  
および パッケージツール

発表製品名: モビシリーズ

プレゼンテーション 2: [ログオーシャン株式会社](#)

発表製品分類: 高速ログ検索ツール

発表製品名: EMLoogle (エムルーグル)

プレゼンテーション 3: [株式会社インフィニテック](#)

発表製品分類: ペーパーレス会議システム

発表製品名: AWP (Active Web Presentation)

プレゼンテーション 4: [コガソフトウェア株式会社](#)

発表製品分類: センサを活用したゆがみ解析システム

発表製品名: 歪みチェッカー



# ビジネスマッチング



## 第117回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成28年6月14日(火)、会場: 山王健保会館会議室

参加実績: 34社49名

プレゼンテーション1: [Facepeer 株式会社](#)

発表製品分類: Web接客(問い合わせ・サポート)プラットフォーム、Web営業支援プラットフォーム、Webクラウド通訳プラットフォーム

発表製品名: BtoCに特化したWeb上での対面コミュニケーションプラットフォーム「FaceHub(フェイス・ハブ)」

プレゼンテーション2: [株式会社エムケイシステム](#)

発表製品分類: 社会保険・雇用保険の手続申請クラウドサービス

発表製品名: 社労夢 CompanyEdition

プレゼンテーション3: [GMOクラウド株式会社](#)

発表製品分類: 法人向けクラウドファイルサーバー

発表製品名: smover (スムーバー) . byGMO

プレゼンテーション4: [株式会社筆まめ](#)

発表製品分類: 小規模事業者向けクラウド型SFA/CRMサービス

発表製品名: 筆まめクラウド顧客管理



## CSAJ/JASPA/JIET 共催ビジネスマッチング商談会 (主催: ビジネスマッチング研究会)

CSAJとJASPA(全国ソフトウェア協同組合連合会)とJIET(日本情報技術取引所)の3団体共催によるビジネスマッチング商談会

開催日時: 平成28年6月13日(月)、会場: トスラブ山王会議室

参加実績: 109社

CSAJ 出展企業

コムチュア株式会社

ネクストウェア株式会社

FPTソフトウェア

JASPA 出展企業

株式会社ユー・エス・イー

東京システムハウス株式会社

株式会社PE-BANK

有限会社システム・アシスト

JIET 出展企業

富士ソフト株式会社

株式会社ISIDインターテクノロジー

株式会社ISIDアドバンスアウトソーシング

キャノン電子テクノロジー株式会社

株式会社シイエヌエス

株式会社システムインテグレータ

Sky株式会社



# 情報提供セミナー・説明会

## 政策

### 第18回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成28年2月24日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：12社15名

テーマ1：メンタルヘルスから健全経営が見えてくる

講演者：山崎 友丈 氏（株式会社マイン 代表取締役 マイメンタルヘルス研究所 所長）

講演概略：健康を「コスト」ではなく「投資」と捉え、その「リターン」を経営にどう結びつけていくかという話を、30年間メンタルヘルスケアの専門家として取り組んできた講師が、最新の動向情報を織り交せて案内。

テーマ2：当社のメンタルヘルスへの取り組み

説明者：藤井 輝記 氏（株式会社筆まめ 取締役 事業推進部長）

講演概略：分社独立により本社機能がほとんどなかった同社が、メンタルヘルス対策に苦労したことと、その後段階的にレベルアップさせていった話について紹介。

### 第19回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成28年3月15日（火）、会場：CSAJ会議室、参加実績：21社23名

テーマ：食品業界としてありたい姿への挑戦事例

講演者：江口 彰一 氏（経営コンサルタント）

講演概略：キューピーの元工場長、元子会社社長を歴任された講師が、創業者の理念を実態化させ、数々の新規事業を成功させてきた生き様について紹介。

### 第20回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成28年4月21日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：11社11名

テーマ：目に見えないものこそ真の戦力 それがベンチャーの成長戦略

講演者：工藤 一郎 氏（YKS 特許評価株式会社 代表取締役社長、工藤一郎国際特許事務所 所長）

講演概略：活用事例：日本銀行、東京証券取引所、経済産業省、アーンスト・アンド・ヤング、ダイヤモンドなどを交えて。

### 第21回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成28年5月17日（火）、会場：CSAJ会議室、参加実績：15社20名

テーマ：戦略的営業組織の作り方

講演者：和田 一男 氏（株式会社ブレインパートナー 代表取締役）

講演概略：- マネジメントと目標管理、目標達成のマネジメント  
- 業績管理、商談管理の基本 - 営業戦略の立て方  
- 組織営業の推進、ステージに合った営業人材の育て方

# 情報提供セミナー・説明会

## 法務・知財

### 第17回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成28年1月28日(木)、会場：CASJ会議室、参加実績：16社22名

テーマ1：ソフトウェア開発会社が海外進出する場合の法律知識<中国編>

講演者：呉征 弁護士 (上海市錦天城法律事務所<ALLBRIGHT LAW OFFICES>)

高革慧 弁護士 (上海市錦天城法律事務所<ALLBRIGHT LAW OFFICES>)

講演概略：ソフトウェア開発会社が中国に進出する際に抑えておかなければならない法律知識について説明。

テーマ2：最近の法務知財の旬な話題について (34)

説明者：黒住 哲理 氏 (ブレークモア法律事務所 弁護士)

### 第18回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成28年3月24日(木)、会場：CASJ会議室、参加実績：13社15名

テーマ1：明日から実践できるマイナンバー実務

講演者：影島 広泰 氏 (牛島法律事務所 パートナー 弁護士)

講演概略：マイナンバーについて、制度概要ではなく、実際に従業員や外注先から収集する際の「文書の文言」や、安全管理措置としてどこまでやっておくのが「普通」なのかといった実務的なポイントを、ひな形に基づいて解説

テーマ2：会社設立の法務

講演者：秋山 佐企子 氏 (ブレークモア法律事務所 司法書士)

講演概略：会社を設立する際の留意点やポイント、メリット・デメリットについて解説。

テーマ3：最近の法務知財の旬な話題について (35)

説明者：黒住 哲理 氏 (ブレークモア法律事務所 弁護士)

### 第19回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成28年5月10日(火)、会場：CASJ会議室、参加実績：21社26名

テーマ1：個別労働紛争の統計から学ぶ会社を守る10の知恵

- ブラック企業にならないための労務管理の肝！ -

講演者：竹内 睦 氏 (竹内社労士事務所 特定社会保険労務士)

講演概略：個別労働紛争にみる相談内容、労務トラブルパターンなどの紹介と退職勧奨や普通解雇に係るテクニックなどの説明。

テーマ2：最近の法務知財の旬な話題について (36)

説明者：黒住 哲理 氏 (ブレークモア法律事務所 弁護士)

# 情報提供セミナー・説明会

## 人材

### 企業内人材育成推進助成金活用セミナー（主催：人材育成研究会）

開催日：平成28年1月22日（金）、会場：CASJ会議室、参加実績：20社21名

説明者：宇野和彦氏（人材委員会副委員長、株式会社スキルメイト 代表取締役）

説明概略：厚生労働省の「企業内人材育成推進助成金」とiCD（iコンピテンシ ディクショナリ）を活用した申請書類作成について解説。

### 内定者向け社会人基礎力研修（主催：人材育成研究会）

開催日：平成28年3月10日（木）～11日（金）、会場：関東ITソフトウェア厚生年金基金会議室

参加実績：2社2名

講師：宇野和彦氏（人材委員会副委員長、株式会社スキルメイト 代表取締役）、  
浮島由美子氏（人材育成研究会メンバー、Y'sラーニング株式会社 代表取締役社長）

説明概略：経済産業省が提唱する「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」である「社会人基礎力」を内定者に習得してもらうため、演習を中心とした研修を実施。

### 第4期 iCD 活用ワークショップ実施報告会（主催：iCD 研究会）

開催日：平成28年2月4日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：14社21名

講師：木田徳彦氏（人材委員会副委員長・iCD研究会主査、株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役）

説明概略：iCDワークショップ活動内容の報告、ワークショップのポイントの説明。参加企業によるワークショップ評価及び感想。

講師：遠藤修氏（IPA HRD イニシアティブセンター）

説明概略：第4期 iCD 活用ワークショップの総合評価。

### iCD 活用事例セミナー（主催：iCD 研究会）

開催日：平成28年5月20日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：24社16名

テーマ1：iCDの概要

講演者：遠藤修氏（独立行政法人情報処理推進機構 HRD イニシアティブセンター）

講演概略：iCDとは、iCDの利活用、iCDを活用した導入アプローチ（IT人材育成のしくみの構築）、構築した仕組みの運用とポイント等

テーマ2：iCD導入事例

説明者：大久保智通氏（株式会社大和コンピューターソリューション統括本部 コンサルティング部）

説明概略：iCDワークショップの参加動機、iCD活用の狙い、iCD導入の感想、今後の展開等

テーマ3：CSAJにおけるiCD活動状況

説明者：木田徳彦氏（人材委員会 副委員長 iCD研究会 主査 株式会社インフォテック・サーブ）

説明概略：第5期 iCD ワークショップのご案内、iCDコミュニティのご紹介、iCD活用企業認証制度について等

# 情報提供セミナー・説明会

## 国際

### アジアからの優秀な IT 人材を採用・長期雇用するためのアジア等 IT 人材定着支援セミナー

(主催：CSAJ/アジア等 IT 人材定着支援協議会)

平成 28 年 3 月 23 日 (水)、CSAJ 会議室にて「アジアからの優秀な IT 人材を採用・長期雇用するための、アジア等 IT 人材定着支援セミナー」を開催しました。

はじめに経済産業省の担当室長からご挨拶及び国の政策について説明をいただき、その後、第 1 部として海外からの IT 人材活用に多くの成功事例をお持ちのフォースパレー・コンシエルジュ株式会社による「海外高度 IT エンジニア採用・活用成功事例セミナー」を開催、第 2 部としてアジア等 IT 人材定着支援協議会の活動について説明しました。

また、CSAJ 人材育成研究会から、ミャンマーにおける人材育成の取組みについての説明もあり、今後のアジア圏の優秀な IT 人材の活用について理解を深めるセミナーとなりました。

開催日：平成 28 年 3 月 23 日 (水)、会場：CSAJ 会議室

参加実績：22 社 27 名

挨拶：小池 雅行 氏 (経済産業省商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長)

第 1 部：海外高度 IT エンジニア採用・活用成功事例セミナー

講師：柴崎 洋平 氏 (フォースパレー・コンシエルジュ株式会社 代表取締役社長)

第 2 部：アジア等 IT 人材定着支援協議会の活動について

講師：原 洋一 (CSAJ 理事・事務局長)



## 技術

### 人工知能～技術、製品、サービス～現状と傾向 (主催：人工知能 (AI) 研究会)

開催日：平成 28 年 2 月 3 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：40 社 47 名

講師：岸本善一氏 (IP Devices, Inc.)

説明概略：IBM、Google、FaceBook、Apple、Amazon などアメリカの主要 IT 企業及び、NEC、日立、NTT などの日本の IT 企業が提供する最新技術とその傾向、ビジネス化の動向などを俯瞰的に解説。

### 人工知能 最前線セミナー (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 28 年 3 月 10 日 (木)、会場：トスラブ市ヶ谷会議室、参加実績：47 社 58 名

講師：中山五輪男氏 (ソフトバンク株式会社/ソフトバンクロボティクス株式会社 首席エヴァンジェリスト)

テーマ：IBM Watson 概要と応用事例の紹介

説明概略：IBM 社開発の認知型コンピュータシステムの IBM Watson は IBM Watson の概要や応用事例、海外ベンダーの開発アプリなどを多くの映像を交えながら紹介。

### 機械学習・SI 技術の到達点 (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 28 年 4 月 15 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：34 社 39 名

テーマ：機械学習の現在

講演者：丸山不二夫 氏 (丸山事務所 代表)

講演概略：近年の機械学習技術・AI 技術とその利用の急速な発展と拡大は、現象的には、これらの技術に対する人々の全体的な理解を難しくしている。これらの技術で、何が出来て何が課題なのか、よく知ることがないと、空想的で根拠のない楽観論と技術否定に通じかねない悲観論の両極に、技術の評価が振動してしまふ。レクチャーでは、機械学習技術・AI 技術の現在について、オーバービューを与えることを目的とし、これらの技術の到達点と課題の概略が説明された。



# 情報提供セミナー・説明会

## 技術

### 機械学習導入アプリ実例～Case : HUE～（主催：人工知能（AI）技術研究会）

開催日：平成28年5月24日（火）、会場：CSAJ会議室、参加実績：31社37名

テーマ：機械学習でエンタープライズITはここまで進化する～HUEが「人工知能ERP」になるまで～

講演者：井上誠一郎氏（株式会社ワークスアプリケーションズ 開発部 パートナー）

講演概略：Googleの「サジェスト機能」やAmazonの「おすすめ商品表示」など、いまやコンシューマーITでは当たり前の技術となった機械学習。ワークス社が開発した世界初の人工知能型ERP「HUE」における、機械学習を活用した機能事例や具体的なアルゴリズムとその選定理由、また開発にあたっての課題や苦労などの裏話も交えつつ、エンタープライズITにおける機械学習技術活用の実情について説明がなされた。

### Google ディープラーニング最前線（主催：人工知能（AI）技術研究会）

開催日：平成28年6月21日（火）、会場：山王健保会館会議室、参加実績：54社80名

テーマ：Googleスケールの機械学習テクノロジー

講演者：佐藤一憲氏（Staff Developer Advocate, Tech Lead for Data & Analytics, Google Cloud Platform, Google Inc.）

講演概略：現在のディープラーニング技術の最大の課題はスケラビリティである点を踏まえ、分散学習の導入の必要性を解説した。Googleが過去数年に渡ってクラウド上での大規模なニューラルネットワーク学習のためのインフラを構築し、その成果を外部の開発者に提供し始めている点に触れ、Cloud Vision APIやSpeech APIなど、学習せずにすぐに使えるMLサービスの説明が行われ、また、TensorFlowやCloud Machine Learningなど、Googleの分散学習インフラにより10～40倍の高速学習を実現するサービスについて解説がなされた。

### IoT 規制実例ードローンー/IoTへの総務省の取組（主催：IoT推進研究会）

開催日：平成28年5月25日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：21社28名

テーマ1：ドローンビジネスの可能性

講演者：山本哲男氏（空撮サービス株式会社 代表取締役社長）

講演概略：世界中で様々な応用分野が提案されている、最前線のドローン応用分野について紹介がなされ、話題の「ドローン宅配」実現に向けた、ドローン専用空路の設定や携帯電話電波のドローン利用について提案する説明がなされた。

テーマ2：IoT時代に向けた総務省及びスマートIoT推進フォーラムの取り組みについて

講演者：小澤孝洋氏（総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室 国際研究係長）

講演概略：IoT/ビックデータ/AI時代におけるスマートIoTの実現に向けた総務省における主な取組状況について説明を行った。また、産学官連携のIoT推進体制である「IoT推進コンソーシアム」の下で、技術開発、社会実証及び標準化に取り組む「技術開発WG（スマートIoT推進フォーラム）」の今後の方針等について解説がなされた。

### IoT 最新事例+政府IoT推進コンソーシアムの取組（主催：IoT推進研究会）

開催日：平成28年3月10日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：17社21名

テーマ1：都市OS実現のための数理モデルと計算基盤

講師：藤澤克樹氏（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所教授）

説明概略：現在、大量のセンサーデータ等を活用した新しいサービスの集合体（都市OS）の開発が進められている。都市全体での交通流の最適化や緊急事態に対するリアルタイムの対応策などの最新の研究及び開発中の応用事例を紹介。

テーマ2：IoT推進コンソーシアム/IoT推進ラボの取組と今後の方向性について

講師：南崎義徳氏（経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長補佐）

説明概略：企業・業種の枠を超えて産学官で利活用を促進するため、設立されたIoT推進コンソーシアム/IoT推進ラボのこれまでの取組や関係プロジェクト紹介、政府関係予算、今後の活動方針等を説明。

# 情報提供セミナー・説明会

## セキュリティ

### ソフトウェア出荷判定時に役立つセキュリティチェック項目を使ってみよう ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準チェックリスト説明セミナー

(主催：セキュリティ委員会 ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準策定ワーキンググループ)

開催日：平成 28 年 5 月 27 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：31 社 45 名

テーマ 1：チェックリストの活用方法及び開発現場でのチェックリスト展開における論点について解説

講演者：板東直樹氏 (アップデートテクノロジー株式会社 代表取締役社長)

講演概略：チェックリストの内容狙い、構成、項目の概要説明、共通フレームによるプロセス、プロセス別チェックリスト、論点、などについて解説。

テーマ 2：チェックリストの社内適用に向けた想定事例のご紹介

説明者：明尾洋一氏 (サイボウズ株式会社 グローバル開発本部 品質保証部 部長)

：太田 純氏 (リコージャパン株式会社 ICT 技術本部 ドキュメント SI センター  
ソリューション開発室 開発第 2 グループ)

講演概略：本チェックリストを社内の開発プロセスにどのように適用するのか各社での社内調整を含め想定できる手法や効果について説明。

### IoT セキュリティの近未来 (主催：セキュリティ委員会)

開催日：平成 28 年 6 月 7 日 (火)、会場：関東 IT ソフトウェア健保会館 大久保会議室

参加実績：40 社 50 名

テーマ 1：IoT セキュリティガイドライン

講演者：山下浩司氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 室長補佐)

講演概略：経済産業省における企業向けのサイバーセキュリティ対策支援施策や、IoT のセキュリティガイドラインの策定の検討状況等の取組を紹介。

テーマ 2：IoT 時代のセキュリティアーキテクチャー

説明者：佐々木弘志氏 (インテルセキュリティ(マカフィー株式会社) サイバー戦略室  
シニア・セキュリティ・アドバイザー CISSP)

講演概略：IoT 時代における新たなセキュリティ課題について整理。その課題に対する最新の取組みとして、インテルが提唱するエンド・ツー・エンドのセキュリティアーキテクチャーと、実証実験レベルではあるが、それを実現するためのソリューションについて紹介。

テーマ 3：IoT セキュリティにどう取り組むか IBM の取組みとアーキテクトの視点

説明者：大津留史郎氏 (日本 IBM 株式会社 セキュリティ事業本部  
セキュリティ・サービス・デリバリ エグゼクティブ・アーキテクト)

講演概略：IoT のセキュリティについて、最新動向、IBM の取組みをアーキテクトの視点から考察。

テーマ 4：IoT 開発におけるセキュリティ設計の手引き

説明者：辻宏郷氏 (独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 セキュリティセンター  
情報セキュリティ技術ラボラトリー)

講演概略：IoT のセキュリティ設計を担当する開発者に向けた手引きとして参考となる情報をまとめた「IoT 開発におけるセキュリティ設計の手引き」(5 月 12 日公開) の内容について紹介。

# 情報提供セミナー・説明会

## その他（企画）

### 第4次情報革命のダイナミックな展開と“あるべき IT 経営”

開催日：平成 28 年 2 月 9 日（火）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：17 社 18 名  
テーマ：第 4 次情報革命のダイナミックな展開と“あるべき IT 経営”  
講演者：堀切 達也氏  
講演概略：“あるべき IT 経営”を、いかに創りだすべきなのか、共に考える



### 軽減税率制度（案）に係る財務省からの説明会

開催日：平成 28 年 3 月 17 日（木）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：21 社 32 名  
テーマ：軽減税率制度（案）に係る説明  
講演者：安掛 真一氏（財務省主税局税制二課 税制専門官）  
講演概略：消費税軽減税率制度（案）に係る説明

### 知らないと損をする

### マーケティング活動に SNS・オウンドメディアを活用するには

開催日：平成 28 年 4 月 19 日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：21 社 26 名  
テーマ 1：最低限おさえておきたいソーシャルメディアの勘所  
講演者：島田 恵一氏（㈱シグナル Web 事業部/マネージャー）  
講演概略：業の担当として最低限知っておきたいソーシャルメディアの知識と、始めるにあたっておさえておきたい内容を紹介。  
テーマ 2：サイボウズの SNS を活用した企業コミュニケーション戦略について  
講演者：大槻 幸夫氏（サイボウズ㈱ビジネスマーケティング本部  
コーポレートブランディング部長/サイボウズ Live プロダクトマネージャー）  
講演概略：ソーシャルメディアオウンドメディア、動画・・・様々なコミュニケーション  
ツールがある中で、それらをどのように活用して企業広報として成果を生み出すのか？本質的な考え方をサイボウズの事例を通して考察する。



# 情報提供セミナー・説明会

## その他（企画）

### CSAJの活動を知ろう・利用しよう

#### ～平成27年度活動方針及び研究会成果報告会～

開催日：平成28年4月13日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：35社46名

ご挨拶：荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長／CSAJ 会長）

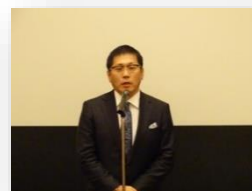
挨拶概略：平成28年度の活動方針を交えたご挨拶が行われました。

特別講演：大田 祐史 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐）

講演概略：「イノベーションによる成長実現に向けた経済産業省のIT政策～平成28年度のIT振興政策について～」というテーマで、IoT・ビッグデータ・人工知能等による変革の推進、攻めのIT経営銘柄2016、情報セキュリティ政策、消費税軽減税率対策などについて、説明が行われました。

委員会報告と研究会立ち上げに関する説明＜原 洋一（CSAJ 理事・事務局長）＞

発表研究会	説明者（敬称略）
アジアビジネス研究会	CSAJ 事務局（原）
人工知能（AI）技術研究会	吉田 一也（アスペックス株式会社）
経営力向上研究会	松倉 泉（株式会社 Harness LLP）
人材育成研究会	富田 伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ）
iCD 研究会	木田 徳彦（株式会社インフォテック・サーブ）
メンタルヘルス研究会	金成 葉子（株式会社シーシーダブル）
モバイルソリューション研究会	岡田 智義（日本事務器株式会社）
IoT 推進研究会	安井 昌男（株式会社豆蔵）
ソフトウェア品質向上研究会	藤井 洋一（日本ナレッジ株式会社）
ビジネスマッチング研究会	安田 敦（株式会社パリュースoftware）
クラウドビジネス研究会	松田 利夫（株式会社きつとエイエスピー）
ビッグデータ・オープンデータ活用研究会	江端 俊昭（ワークブレイン・ジャパン株式会社）
中小建設業・設備業 IT 推進研究会	井上 英明（石田データサービス株式会社）
ICT 教育研究会	CSAJ 事務局（小林）



[配布資料](#)は web よりご覧いただけます。（会員限定）

- ・ 経済産業省資料
- ・ 活動 pickup のご紹介と研究会立ち上げについて
- ・ 活動 pickup（2015年10月～2016年3月）
- ・ 研究会報告1（アジアビジネス研究会、人工知能（AI）技術研究会、経営力向上研究会、人材育成研究会、iCD 研究会、メンタルヘルス研究会）
- ・ 研究会報告2（モバイルソリューション研究会、IoT 推進研究会、ソフトウェア品質向上研究会、ビジネスマッチング研究会、クラウドビジネス研究会、ビッグデータ・オープンデータ活用研究会、中小建設業・設備業 IT 推進研究会、ICT 教育研究会）

# ニュースリリース

平成 28 年 1 月 28 日 (木)

## ISO/IEC 25051:2014 準拠 PSQ 認証制度認証製品決定！！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、ソフトウェア製品の品質を第三者が評価する PSQ 認証制度において、1 月 27 日(水)に第 11 回判定委員会（委員長：東 基衛氏（早稲田大学 名誉教授））を開催し、1 社 1 製品が新規に認証されました。

平成 28 年 3 月 31 日 (金)

## JIS X 25051:2016 の公示・発行について

### ～ CSAJ が既製ソフトウェア製品の品質活動普及に向けて JIS 規格改正 ～

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、東京都港区赤坂）が JIS 原案作成団体として手掛けた JIS 規格「JIS X 25051:2016」が、3 月 22 日に経済産業省より公示され、一般財団法人日本規格協会より発行されました。

CSAJ では、国際規格の普及を通じてソフトウェア製品の品質向上を図り、PSQ 認証制度による品質の見える化によって、引き続き安心・安全なソフトウェア選定を支援してまいります。

平成 28 年 4 月 1 日 (金)

## 「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」の詳細決定！！“未来を拓く創造力！プロをうならせるアイデアと技術”

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、2016 年度プログラミング・コンテストの応募要領を公開するとともに、2016 年版公式 Web サイトをオープンします。今年の U-22 プロコンでは、昨年に引き続き、「プロダクト」、「テクノロジー」、「アイデア」の 3 つの評価ポイントにより審査し、応募者がさらに「応募したい！」と思うような取り組みを進めてまいります。また、コンテストに応募することで、将来の自分の可能性が広がる支援プログラムも充実しています。

平成 28 年 4 月 19 日 (火)

## iCD 活用企業認証制度 3 団体が認証企業名を公表、既に 461 社を認証済み

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会、特定非営利活動法人 スキル標準ユーザー協会、一般社団法人福岡県情報サービス産業協会の 3 団体は、昨年末より開始した iCD (i コンピテンシ ディクショナリ) 活用企業認証制度における認証企業名を公表しました。認証企業のうち、CSAJ 会員企業および CSAJ が活用支援を実施した団体の会員企業で、認証された企業は 18 社となります。

平成 28 年 6 月 8 日 (水)

## 平成 28 年度新理事・役員体制について

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（東京都港区、以下「CSAJ」）は、平成 28 年 6 月 8 日(水)、第 31 回定時総会を開催し、平成 28 年度新理事・役員体制を決定致しました。会長は荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス代表取締役社長）が再任したほか、新たに笹岡 賢二郎が専務理事に就任、平成 28 年度の活動方針に基づき新たな体制でスタートします。

# ニュースリリース

平成 28 年 6 月 2 日 (木)

## 「CSAJ スタートアップ支援事業」新たに支援先企業 3 社を決定

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（東京都港区赤坂、会長：荻原紀男、以下「CSAJ」）は、「CSAJ スタートアップ支援事業」において、新たに支援先となった企業 3 社を発表いたします。

「CSAJ スタートアップ支援事業」は、国内ソフトウェア業界において成功した起業家・創業者が所属する CSAJ の強みを活かし、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる」好循環を日本に創り出すとともに、世界を変える革新的なソフトウェアを生み出すことを目的に、2015 年 6 月に開始した事業です。

本事業では、支援先企業に対して、起業経験を持つ現役経営者等による経営指導、メンタリング、教育・訓練等を実施し、年に 1 回、ベンチャーキャピタル等を招待する最終発表会「Demo Day」にて各社の製品・サービスをアピールします。

以下、2015 年 12 月以降に応募があった中から新たに決定した 3 社の支援先を発表いたします。今後この 3 社は CSAJ の各種支援を受け、12 月（予定）の Demo Day に備えます。

◆CSAJ スタートアップ支援事業の詳細は公式 Web サイトをご参照ください。

<http://www.csajstartup.com/>

### 支援先企業

	モビルス株式会社 <a href="http://www.mobilus.co.jp/">http://www.mobilus.co.jp/</a> モビルスは大手キャリアやSIer企業にも採用実績のあるコミュニケーションプラットフォームの提供と、それを利用したアプリケーションの開発及び販売を行う企業です。人と人、人とモノをモバイルファーストでかつリアルタイムに繋ぐソリューションを提供します。
	マイクロマクロリンク株式会社 <a href="http://e-fu.org/">http://e-fu.org/</a> 楽譜と音楽のシンクロ技術のバイオニア、マイクロマクロリンク株式会社。独自のシンクロ技術である「E譜テクノロジー（読み方：イーふテクノロジー）」を核とした、システム&アプリケーション開発、教材開発、ビデオ制作等を行っている。2016年5月に、「Music Meta Library（通称：ミュージーブ）」を発表。
	株式会社umami（ウマミ） <a href="http://www.umami.global/">http://www.umami.global/</a> 飲食店での料理メニューの多言語化や母国語での簡単注文、クーポン発行による集客、SNS機能による口コミ拡散等の機能を提供するインバウンド対策アプリを展開し、2015年4月のスタート以降、約250店舗の飲食店が本サービスを導入しています。株式会社umamiは、ITを活用した本アプリを通して、訪日外国人観光客への対応をトータルで支援しています。

平成 28 年 6 月 20 日 (月)

## セコム、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、JTB、タカラトミー等 6 社/団体の初出展が決定！

## CEATEC JAPAN 2016 主催者特別企画展示「IoT タウン」にて“未来の街”を展開

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）、一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）の CEATEC JAPAN 主催 3 団体は、本年 10 月 4 日（火）から 10 月 7 日（金）に開催される「CEATEC JAPAN 2016」（会場：千葉市・幕張メッセ）において、主催者特別企画「IoT タウン」を展開します。本日時点で、CEATEC JAPAN 初出展の 6 社/団体を含み、10 社/団体の出展が決定いたしました。

# 報告書

## 第2期若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修

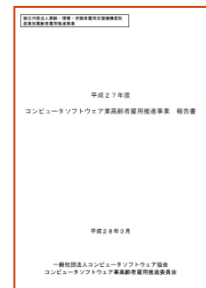
### 終了報告

技術委員会が企画した若手エンジニアを対象とした英語コミュニケーションによる米国最新IT動向を平成27年11月7日(土)～11月15日(日)米国ロサンゼルスにて学び、また、研修終了後の平成28年1月29日(金)には研修参加者によるプレゼンテーション報告会を行った「若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修」の実施結果をまとめた報告書です。(参加18名)



## コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業報告書

コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進委員会が中心となり、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構より受託した「産業別高齢者雇用推進事業」における調査結果をまとめた報告書です。



## CSAJ スタートアップ支援事業実施報告書

### (経済産業省平成26年補正予算事業)

CSAJ スタートアップ支援運営委員会が中心となり、経済産業省の平成26年度補正予算事業「先輩起業家等によるスタートアップ支援モデル構築事業」との連携を図り実施したH27年度のCSAJ スタートアップ支援事業をまとめた報告書です。



## 第4期 iCD 活用ワークショップ実施報告書

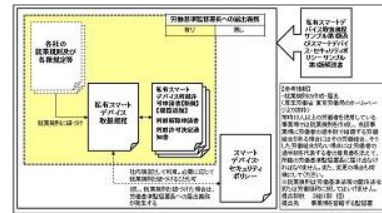
毎年7月から9月にかけて iCD 研究会が中心となり IPA が推進している iCD (i コンピテンシ ディクショナリ) を活用した企業の人材育成を支援する活用ワークショップの実施報告書です。



# 報告書

## BYOD サンプル規程等改訂

私有スマートデバイス取扱規程サンプル及びスマートデバイス・セキュリティポリシーサンプル解説書について、2013年に公表しました第1版から、時勢にあわせ、マイナーバージョンアップを行いました。



## メンタルヘルスに関する調査報告書

メンタルヘルス研究会は、平成 28 年 1 月 27 日～2 月 22 日まで CSAJ 会員企業を対象としたメンタルヘルスに関するアンケート調査結果を報告書としてまとめ、この度公開しました。



## マレーシア視察ツアー実施報告書を公開

アジアビジネス研究会では、平成 28 年 2 月 21 日（日）～26 日（金）に「マレーシア視察ツアー」を実施いたしました。

本報告書は参加メンバーによる視察先とのミーティング内容や現地企業とのビジネスマッチングの感想など、有意義な視察だったことがうかがえる内容となっておりますので、ぜひご参照ください。



## 第 20 回 中国 国際軟件博覧会 (INT'L SOFT CHINA)

### 出展レポート

日中ビジネス WG では、平成 28 年 5 月 26 日（木）～28 日（土）に中国・北京市で開催された「第 20 回中国国際軟件博覧会」にジャパンパビリオンとして出展いたしましたので、報告書を作成いたしました。

本報告書では、展示会の模様や実際に出展した担当者の感想など、海外展示会の雰囲気と注意点等、参考になる内容となっておりますのでご参照ください。





# 実施事業

## プライバシーマーク審査事業

### 1. プライバシーマーク審査判定委員会 (平成 28 年 4 月～6 月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、平成 28 年 4 月から平成 28 年 6 月に計 3 回の委員会を開催し、付与適格決定 21 社（更新 17 社、新規 4 社）、個人情報事故措置 6 件を決定致しました。

### 2. 平成 28 年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (平成 28 年 4 月～6 月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退/ 退会/審査 機関変更	P マーク 実質増減数
平成 27 年度 実績	70 社	34 社	104 社	—	40 社	1 社	10 社	25 社
平成 28 年度 実績	33 社	8 社	41 社	39.4%	19 社	3 社	2 社	9 社

※実績は、審査中を含む。

## 実施事業

### U-22プログラミング・コンテスト 2016

1980年から経済産業省主催として、アイデアに富んだイノベティブな人材発掘と育成を目的として開催されてきました。2014年からは民間に移行し本コンテストの主旨にご賛同、ご協賛いただいた企業から構成される「U-22プログラミング・コンテスト実行委員会」が主催、歴史あるプログラミング・コンテストの継承し、更なる発展を目指します。

2016年は4月1日に応募要領を公開し、7月1日から8月25日までの間が応募期間となります。全作品の中から事前審査、一次審査を経て入選16作品を決定し、10月2日（日）の最終審査会を実施、なお最終審査会は一般聴講のほか、ニコニコ公式生放送でも放映します。

#### ○2015年応募結果

応募総数	175	ジャンル	学年		
個人	78	セキュリティ	7	小学	4
団体	97	言語	4	中学	9
応募方法		ユーティリティ	47	高校	28
ストレージ	53	コミュニケーション	9	高専	6
Web	17	学習&教育	18	専門	90
郵送	105	ゲーム	81	大学	38
		その他	7	その他	0
		不明	2		

○2015年最終審査会の様子：<https://www.youtube.com/watch?v=0g96EgAAqy8&feature=youtu.be>

○2015年経済産業大臣賞（経済産業省にて表彰状の授与／副賞：10万円、トロフィー）

作品名	制作者 or チーム名（学校名）
allergy	中馬 慎之祐（成蹊小学校）
Streem	清水 大輝（米子工業高等専門学校）
すまっとシューター	KBC 射的屋（河原電子ビジネス専門学校）
Recture ～ 復習しやすい授業記録アプリ ～	藤坂 祐史（筑波大学）



# 実施事業

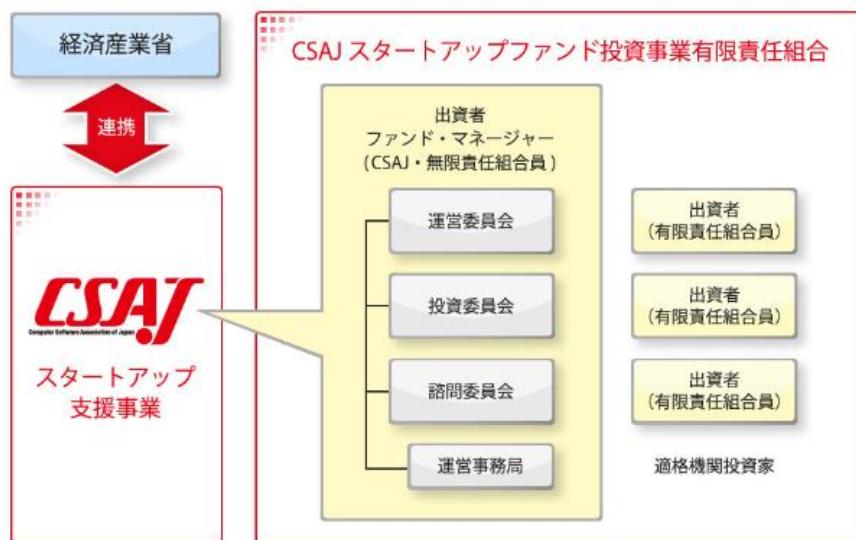
## スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、また、経済産業省におけるITベンチャー支援に関する政策とも連携しながら、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を昨年4月より開始しています。

また、経済産業省の平成26年度補正予算事業「先輩起業家等によるスタートアップ支援モデル構築事業」との連携を図りながら実施しました。

初年度となる2015年度は全体で21社の応募があり、投資委員会において今後の成長が見込まれる8社を選定、各種の支援プログラムを提供し、12月には「CSAJ Startup Demo Day 1st」において、多くの投資家様に対してプレゼンテーションが行われました。

2016年は、一次募集を4月～7月、二次募集を10月～1月に行っており、6月現在では2社への出資を決定し、現在10社への支援を行っています。



## 支援企業 10 社

 Bank Invoice 株式会社	 株式会社 eBook Cloud	 株式会社プレミアムアーツ	 株式会社 Manabelle
 株式会社 Mealthy	 モビルス株式会社	 FacePeer 株式会社	 マイクロマクロリンク株式会社
 株式会社 umami	 株式会社円簿インターネットサービス		

2016年6月30日現在

# 実施事業

## コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構より受託した「コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用推進事業」では、コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進委員会（委員長：梅澤隆（国土館大学政経学部 教授・博士（商学））が中心となり、平成 27 年度は、会員企業を中心としたコンピュータソフトウェア企業に対し、労働力人口の高齢化の状況や、置かれている経営環境、求められる労働者の性質、形態などについてアンケート調査とヒアリング調査を実施しました。

その結果、当業界における従業員構成の傾向をつかむことができ、当業界における高齢者雇用推進に向けた課題などの洗い出しを行い、その結果を報告書としてまとめました。

なお、平成 28 年度は、本調査の結果を踏まえ「コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進ガイドライン」を作成し、広く普及活動を実施いたします。

### ○アンケート調査の概要

#### 1)調査期間

2015（平成 27）年 9 月 4 日～2015（平成 27）年 10 月 31 日

#### 2)調査対象

CSAJ 会員企業を中心としたパッケージソフトウェア企業を対象に、経営者あるいは、人事・総務部門の責任者にアンケート調査票を配布

#### 3)回収状況

経営者(企業) 154 サンプル（回収率：42.5%）

従業員(個人) 361 サンプル（回収率：33.2%）

### ○ヒアリング調査の概要

企業ごとの具体的な状況についての情報を収集するために、アンケート回答企業の中から 12 社選定し、個別ヒアリングを行いました。ヒアリング企業の地域、従業員規模は以下の通りです。

	地域	従業員規模
A 社	東京	299 名
B 社	東京	34 名
C 社	東京	157 名
D 社	九州	222 名
E 社	北陸	46 名
F 社	北陸	141 名
G 社	九州	234 名
H 社	関西	168 名
I 社	関西	195 名
J 社	東京	197 名
K 社	東京	470 名
L 社	東京	3,872 名

# 実施事業

## PSQ 認証制度事業

### 1. PSQ 認証制度判定委員会 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

ソフトウェア品質に関する学識経験者等を委員委嘱し、評価結果に基づく認証報告書から PSQ 認証ロゴの付与適格性審査を行う第三者委員会として、平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月に計 3 回の委員会を開催し、新規 6 製品更新 3 製品を決定いたしました。本制度の運用を開始した平成 26 年から累計で 20 社 31 製品が PSQ 認証を取得しています。

### 2. 平成 27 年度 PSQ 認証取得状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-Q2015006	株式会社JTBコーポレートソリューションズ	J's NAVI NEO	2	平成28年1月27日
PSQ-Q2015005	ウイングアーク1st株式会社	MotionBoard	5.5	平成27年9月29日
PSQ-Q2015004	ウイングアーク1st株式会社	Dr.Sum EA	4.1	平成27年9月29日
PSQ-Q2015003	ウイングアーク1st株式会社	SVF	9.2	平成27年9月29日
PSQ-Q2015002	弥生株式会社	弥生会計 オンライン	2	平成27年7月22日
PSQ-Q2015001	大興電子通信株式会社	PROCURESUITE	4	平成27年9月29日
PSQ-Q2014012	株式会社建設ドットウェブ	どっと原価 NEO EX/どっと原価 NEO	2	平成27年7月22日
PSQ-Q2014005-1	株式会社エヌジェーケー	DataNature Smart Ver.3	3.0.0	平成27年9月29日
PSQ-Q2014010-1	弥生株式会社	やよいの白色申告オンライン	2	平成27年7月22日
PSQ-Q2014009-1	弥生株式会社	やよいの青色申告オンライン	2	平成27年7月22日

### 3. マイナンバー対応ソフトウェア認証

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループ(以下、マイナンバーWG)が定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能、および、個人番号を直接扱わない支援ソフトウェアが実装している機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

今年度は、11 社 18 製品が認証を取得しています。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
MN-2015018	カシオ情報機器株式会社	楽-EXシリーズ+楽-PORTALマイナンバーシステム	平成27年12月11日版	平成27年12月22日
MN-2015017	株式会社クリックス	マイナ・キーパー	1	平成27年12月22日
MN-2015016	ラディックス株式会社	マイナンバー管理・収集サービス(※)	1.0.10	平成27年11月24日
MN-2015015	株式会社三ロク情報サービス	MISかんたん! 給与 10	10.0.000.0	平成27年11月5日
MN-2015014	株式会社三ロク情報サービス	MISマイナンバー-Cloud	1.00.0000	平成27年11月5日
MN-2015013	株式会社三ロク情報サービス	MISマイナンバー	1.00.0000	平成27年11月5日
MN-2015012	ピー・シー・エー株式会社	PCA人事管理X (PCAマイナンバー収集サービス)	1	平成27年10月1日
MN-2015011	ソリマテ株式会社	給料王17	17.00.00	平成27年10月1日
MN-2015010	株式会社OSK (開発元) / 株式会社大塚商会 (販売)	らくらくマイナンバー対応システム	1.1	平成27年9月11日
MN-2015009	株式会社OSK	SMILE BS2 人事給与	7.91	平成27年9月11日
MN-2015008	株式会社システムリサーチ	BIG給与計算Pro	6.1	平成27年9月11日
MN-2015007	応研株式会社	給与大臣NX	2.9	平成27年9月11日
MN-2015006	株式会社オービックビジネスコンサルタント	法定調書奉行V ERP8 (法定調書奉行 i8)	2.14	平成27年9月11日
MN-2015005	株式会社オービックビジネスコンサルタント	給与奉行V ERP8 (給与奉行 i8)	2.14	平成27年9月11日
MN-2015004	株式会社オービックビジネスコンサルタント	OMSS+マイナンバー収集・保管サービス	1	平成27年9月11日
MN-2015003	弥生株式会社	やよいの給与計算 16	19.0.1	平成27年9月11日
MN-2015002	弥生株式会社	弥生給与 16	19.0.1	平成27年9月11日
MN-2015001	ピー・シー・エー株式会社	PCA給与X (PCAマイナンバー収集サービス)	1	平成27年9月11日

## 実施事業

### PSQ 認証制度事業

#### 早稲田大学グリーンコンピューティング研究開発センター ～JISX25051:2016 リリース記念セミナー～ 世界最高基準を目指す日本のソフトウェア品質

(早稲田大学、CSAJ 共催)

平成 28 年 3 月 29 日(火)、早稲田大学にて、「世界最高基準を目指す日本のソフトウェア品質」と題してソフトウェア品質セミナーを開催いたしました。

グローバルスタンダードに基づいてソフトウェア製品の品質を体系的に測定評価する方法とその基準を、同国際規格策定エディタ・プロジェクトリーダーより詳しくご紹介したほか、早稲田大学が進める ISO/IEC 25051:2014 (JIS X 25051:2016) に基づくソフトウェア製品の品質実態調査について紹介されました。さらにパネル討論では、今後の世界最高基準を目指した日本のソフトウェア製品の品質のあり方について熱い議論が交わされました。

開催日：平成 28 年 3 月 29 日(火) 14:00～17:30

会場：早稲田大学グリーンコンピューティング研究開発センター  
1 階セミナー室

参加実績：105 名



#### 製品品質および利用時の品質の測定が国際規格化! ～ISO/IEC 25022/25023 リリース記念セミナーを 急遽開催～ (主催：ソフトウェア品質向上研究会)

ソフトウェアの利用時の品質を測定するメトリクスを定めた ISO/IEC25022、開発段階で製品の品質を測定するメトリクスを定めた ISO/IEC25023 が、新規に国際規格として発行されたことを受け、ソフトウェア品質向上研究会のテーマである「ISO/IEC 25000 (SQuaRE) シリーズの理解と導入」の促進に向けて、あらためて SQuaRE シリーズ全体の解説、ならびに早稲田大学がこの新規規格を含めて設計した「ソフトウェア製品品質実態調査」の詳細内容に関するセミナーを開催いたしました。

開催日：平成 28 年 6 月 22 日(水) 15:00～17:00

会場：CSAJ 会議室

参加実績：30 名

## ご案内

### CSAJ スタートアップ支援事業 2016 年度スタートアップ企業の二次募集は 10 月より開始



ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて 30 年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	一次募集 平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日 二次募集 平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表までの流れ 
CSAJ ファンドからの出資	(1)シード期の初期投資：300 万円を想定（取得株式：5～10%を想定） (2)成長の期待できる企業への追加投資：1,000～5,000 万円を想定（取得株式比率は相談）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：井上、中野 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/> ）をご覧ください

### U-22 プログラミング・コンテスト 2016 応援団募集中！

U-22 プログラミング・コンテスト 2016 では、コンテスト認知度のさらなる向上と、より多くの皆様に、もっと気軽に参加いただくため、通常の「スポンサー」枠とは別の「応援団」という小口協賛枠を創設することといたしました。皆様にもぜひ当コンテストの趣旨（日本国内のイノベティブな人材の発掘と育成）にご賛同いただき、企業 CSR の一環として学生の皆さんを応援しませんか？ご参加お待ちしております！

【参加費】 50,000 円（税抜）／社

※応援団にお申込みいただいた企業は U-22 プログラミング・コンテスト 2016 公式 Web サイトに「プロコン応援団」として社名を掲載します。また、最終審査会場（来場者数 100 名程度）において、各企業のカタログ・チラシを 1 種類設置することが可能です。

【期 間】 2016 年 4 月～2016 年 10 月まで

【申込期限】 2016 年 9 月 30 日（金）まで

【申込方法】 E-mail（u22-info@csaj.jp）に応援団希望の旨ご連絡いただけましたら申込書をお送りします。



## ご案内

### CSAJ 会員交流会申込受付中（今年は 9 月 14 日開催です！）

CSAJ 会員交流会は、会員同士の情報交換・親睦を目的に毎年 8～9 月に実施している交流会で、毎年 100 名を超える皆様にご参加いただいています。総会懇親会、賀詞交歓会よりもフランクな会で、芸人を招いたり、豪華景品が当たる抽選会など企画もあり、皆様からご好評の声をいただいております。

今年は「食堂 BAR カスミガセキ」で開催することとなりました。まだまだ暑い時期、ビアホールスタイルでの交流会は、例年以上に会員企業の皆様の親睦をより一層深める場となることでしょうか。これを機に『CSAJ 会員交流会』に、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

【会 期】平成 28 年 9 月 14 日（水） 17:20～19:20 （受付：17:00～）

【会 場】食堂 BAR カスミガセキ

東京都千代田区霞が関 3-2-6 東京倶楽部ビル 霞ダイニング 2F

TEL : 03-3501-0877

【参加費】6,000 円（税込）／名

【対 象】CSAJ 会員限定

【プログラム】会長ご挨拶・乾杯・景品抽選会 など

【申込期限】平成 28 年 9 月 5 日（月）まで

【申込方法】[こちら](#)よりお申込みください。

※景品ご提供のお願い

会員交流会では、皆様からの景品のご提供をお待ちしています！

景品をご提供いただける場合は「[こちら](#)」からお申込みください。



### 一般社団法人 日本 IT 団体連盟の設立について

2016 年 7 月 22 日（金）、設立総会ならびに第 1 回理事会が開催され、一般社団法人 日本 IT 団体連盟が正式に発足し、CSAJ は本連盟の一員として活動を開始いたします。

CSAJ の業界内の役割や目的、活動につきましては従来と何ら変わることはありませんが、CSAJ だけでは解決できない課題や他団体と共通する問題点等については、本連盟で検討し、改善を図ることが可能になります。

【一般社団法人日本 IT 団体連盟 概要】

団体名 一般社団法人 日本 IT 団体連盟  
英語名 ITrenmei, Japan Federation of IT Associations  
会長 宮坂 学 (Yahoo!基金 理事長)  
設立 平成 28 年 (2016 年) 7 月 22 日  
加盟団体 53 団体 (平成 28 年 7 月現在)  
URL <http://www.itrenmei.jp>  
お問合せ info@itrenmei.jp

**IT連**  
日本IT団体連盟







## 品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

### PSQ 認証制度 申請製品募集中！

#### ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に 準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が国産既製ソフトウェア製品の品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 に準拠しており、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に沿った品質認証制度です。

これまでに 20 社 31 製品が認証を取得しています。ソフトウェア製品（パッケージ/クラウド）をお持ちの企業は、ぜひ本認証を取得し、品質をアピールしてください。



ISO/IEC 25051:2014

#### 認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq\_info@csaj.jp

## マイナンバー制度の利活用はこれからです！ 「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」申請製品募集中！

#### 業務ソフトウェアとして「マイナンバー対応」を謳うなら！

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループが定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

これまでに 12 社 19 製品が認証を取得、製品パッケージや Web サイト、カタログ等で積極的なアピールを展開しています。



— CPS/IoT EXHIBITION —  
**CEATEC<sup>®</sup>**  
**JAPAN**

2016年10月4日(火) ▶ 7日(金) >>> 幕張メッセ

IoTビジネスがここにある



これまで「最先端 IT ・エレクトロニクス総合展」として開催してきた CEATEC JAPAN は、CPS/IoT でよりつながりが深くなる社会から、新たな未来を共に創る場として生まれ変わります。

CSAJ は、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)とともに「CEATEC JAPAN」を主催しています。

**名称** CEATEC JAPAN 2016 (シーテック ジャパン 2016)  
(Combined Exhibition of Advanced Technologies)

**会期** 2016年10月4日(火) ~ 7日(金) 午前10時~午後5時

**会場** 幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬 2-1

**入場** 全来場者登録入場制

**主催** 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)  
一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)  
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

----- CSAJ 荻原会長キーノートスピーチのご案内 -----

## 「今注目すべき技術動向と IT 業界の今後」

日時 : 10月4日(火) 16:15 ~ 17:00

会場 : 国際会議場 2階 コンベンションホール AB

**入場事前登録、コンファレンス聴講予約受付中!!**

<http://eventregist.com/e/ceatec2016>



### CPS/IoT 社会到来にむけた主催者特別企画展示

IT・エレクトロニクスとの融合が進むモビリティ、ヘルスケア、エネルギー、農業、航空・宇宙などとの連携により見えてくる、近未来の社会全般を鳥瞰しつつ、今後のトレンドや注目テーマにスポットを当てイノベーションの成果を提案します。

